令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名

(所管課)

富山県常願寺川公園

都市計画課

2 施設所在地

中新川郡立山町利田

3 施設設置年度

昭和59 年度

4 設置目的

県民誰もがスポーツや様々なレクリエーションを楽しめることを目的として、昭和59年に開園した総合公園

5 施設概要

敷地面積: 29.4ha

主な施設

•野球広場: 4面 37,200㎡

・サッカー・ラグビー場:サッカー場1面、ラグビー場1面 26,600㎡

・テニスコート:ウレタン系舗装コート10面

・芝生スポーツ広場: 2面 24,000㎡

わんぱく広場、バーベキューコーナー等

6 指定管理者

公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間

3 年

令和5年4月1日

令和8年3月31日

- 8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況
 - (1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R2	R3	R4	R5	R6
175, 000	259, 900	329, 200	340,600	353, 200

(2)利用(使用)料金収入(千円)

R2	R3	R4	R5	R6
2, 055	2, 215	2, 996	3, 269	3, 214

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

R2	R3	R4	R5	R6
4, 202	4, 202	4, 202	4, 202	4, 237

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・利用者数は令和5年度比103.7%(12,600人増)、有料公園施設の料金収入は令和5年度比98.3%(55千円減)となり、利用者数は増加、利用料収入は減少した。
- ・令和5年秋に工事で一部使用できなかった野球グラウンドが全面的に使用できるようになったことや「女子テニス世界大会」の開催により、利用者数・利用料収入ともに増加した一方、少年サッカーにおけるチーム数の減少により大会が開催できなかったことや能登半島地震でクラックが入ったテニスコートの補修工事のためコート5面が使用できなかったなどによる利用者数・利用料収入の減少があった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・令和5年度に引き続き、テニスコートの全日ナイター営業(休園日を除く)を実施している。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・令和5年度にテニスコートのコート面の改修及び照明のLED化工事がすべて完了し、 国際標準のテニスコートとなった。
- ・令和3年度から地元立山町の広報誌にイベント情報を掲載し、PRに努めた。
- ・毎週末に子供連れの利用者へ動物等のバッテリーカーを提供した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

<u> </u>	/ -
実施方法	イベント参加者向けアンケート (通年)
回答者数	22人
結果	「よかった」、「まあまあよかった」97%
結果を踏まえた	イベント参加者のほとんどが参加してよかったと回答しており、
改善事項	どのイベントも好評で来年も参加したいという意見が多いため、
	今後ともイベントの継続、充実を図っていくこととした。

②その他利用者の声を反映させる取組み

・意見箱を設置(2か所)している。

③主な苦情と対応

- ・駐車場で踊っているグループがいて駐車できないと苦情があった。⇒早急に現地へ向 かい、注意した。
- ・「スズメバチに追いかけられた」と苦情があった。⇒早急に現地へ向かい、周辺に巣がないか調査した(巣は見つけられなかった)。

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関するプライバシーポリシーを定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

立山町観光協会と連携で「ぼんぼり」を設置し、桜まつりにおいて、夜間の賑わいに寄与した。

(7)施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理 に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

①定期報告の受理

- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/ 無	四数(有の場合)
有	12
有	6
無	_
無	_

口坐/ナの旧人)

【トラブルの具体的内容と対応】
-

- 11 今後の課題等(収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)
 - ・今年度Park-PFI事業によって、バーベキュー施設をリニューアルしているところである。Park-PFI事業者と相互に連携し、公園全体の賑わいの創出に期待したい。 ・引続きアンケート等により利用者のニーズ把握に努め、利用者増に向けて取り組んでもらいたい。